

自分の心で、自分の頭で

本日の「生命（いのち）の授業」にあたり、みなさんに1つお願いがあります。
お願いは最後に言いますね。

日本人の死因（お亡くなりになってしまう原因）として、割合が最も高いのは「がん」なのだそうです。3～4人に1人の割合です。そういったことを踏まえ、国は、がんを取り上げた教育を行うことを定め、昨年度から、日本全国のどの中学校でも、がん教育が進められるようになりました。がん教育の目的は2つです。

1つ目の目的は「がんについて正しく理解することができること」です。例えば、がんは身近な病気であること、がんを治療するためには、早期検診・早期発見がとても重要であることなどを学ぶということです。

2つ目の目的は「健康や命の大切さについて主体的に考えること」です。主体的というのは、自分の心で感じ取り、自分の頭でどうすればいいかをしっかり考えようとするのだと思います。がんについて学んだり、がんと向き合っている方の経験談をお聞きしたりすることで、自分の健康や命の大切さについても考えることができると思います。また、自分の大切な人の健康や命の大切さにも考えが及ぶようになると、なおさら素晴らしいことだと感じます。

本日、「生命（いのち）の授業」をしてくださるのは、「くまがやピンクリボンの会」の皆さま方です。「くまがやピンクリボンの会」は2008年（平成20年）に活動をスタートしたそうです。中学1年生の皆さんの一年先輩でしょうか。「生命（いのち）の授業」を始めてからは、今年度が9年目だとお聞きしています。私は、その頃、熊谷市内の中学校で、「生命（いのち）の授業」を初めて受け、たくさんを感じ、たくさんのことを考えました。ずっと前から、熊谷だけでなく、埼玉県や国のがん教育を推進してきてくださいました。

生徒の皆さんへのお願いです。それは、授業が終わって感想文を書く時のことです。お話を聞いて、自分の心で感じたことや自分の頭で考えたことを忘れないうちにしっかり書き留めて欲しいのです。文章として書いていく過程で、考えが深まることもあると思います。皆さんの書いた感想は、全員分、私も目を通します。

それでは、授業が始まります。「くまがやピンクリボンの会」の皆さま、どうぞ宜しくお願いいたします。